

令和7年度（有馬高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守の意識の向上	全教職員の法令遵守の意識の向上を図るとともに、生徒・保護者・県民から信頼される教職員としての資質の向上に取り組む。	神奈川県公立学校教職員倫理に関する指針を定期的に確認し、意識の啓発を図るとともに、公務員としての自覚を促した。研修などを通して事例をあげ、公務外での非行を未然に防止し、生徒・保護者から信頼される教職員としての意識向上を図った。 目標を概ね達成することができた。
職場のハラスメントの防止	パワハラ防止指針等の趣旨を踏まえ、パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとするハラスメントに対する意識を高め、あらゆるハラスメントの防止に努める。	ハラスメント防止の啓発資料を配付してハラスメントの理解を図り、ハラスメント防止の意識向上の徹底を図った。ハラスメントを受けた職員がいた場合に備え、相談窓口一覧も掲示した。また、部活動インストラクターや教育実習におけるハラスメント防止の意識を職員間で共有した。 目標を概ね達成することができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権に配慮するとともに、セクシャル・ハラスメント、わいせつ行為を防止する。	職場内から不祥事を出さないという共通理解のもと、わいせつ事案防止の啓発資料を活用し、わいせつ行為防止の意識向上に努めた。生徒との距離感を意識させるとともに、生徒とのSNS等の利用の禁止、複数対応を徹底するなど環境整備にも努めた。生徒の氏名を呼ぶときは、「苗字」＋「さん」づけで呼ぶことを周知・徹底した。 目標を概ね達成することができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰やパワハラ、不適切な指導を防止する。	年度当初に全職員に対して、体罰や不適切な指導を行うことがないように注意喚起することで全職員が体罰によらない指導への理解を深める機会を設けた。悉皆研修を実施した。定期的に注意喚起を行うい、不適切な指導の防止に努めた。定期的に生徒の人権を意識する機会を設けることで、生徒一人ひとりの人権を尊重した指導に努める意識の醸成を図った。 目標を概ね達成することができた。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に関する業務に適切に取り組み、事故を未然に防止する。	入学者選抜マニュアルを細部に至るまで見直すとともに、研修会を丁寧に実施し、全職員が適切な業務遂行を心掛けて業務に努めた。個人情報等の管理についても金庫や鍵のかかるキャビネットで厳重に保管し、管理を徹底した。正確な採点及び丁寧な資料の点検を心掛け、公正な入学者選抜を実施した。 目標を概ね達成することができた。

成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理に関する業務に適切に取り組み、誤りのない進路関係書類の作成・点検及び取扱いの徹底を図り、事故防止に努める。	成績処理に係るマニュアルを見直すとともに、職員への業務内容の周知を徹底し、マニュアルに沿った適正な成績処理を行った。推薦に関する資料・書類の作成時は、丁寧な作業を心掛け、必ず複数名で複数回の点検を行う手順を徹底した。書類等の管理についても、漏洩、紛失、滅失等をしないよう指定された場所での保管を徹底した。 目標を概ね達成することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	適切な個人情報等の管理を徹底するとともに、万全な情報セキュリティ対策の構築に努める。	漏洩、紛失、滅失等をしないよう、徹底した注意喚起を促した。個人情報を紙等で回収する機会を極力減らすことで紛失を防ぐとともに、回収した場合は指定されたファイルを利用することとした。個人情報等の管理は、鍵のかかかると指定された場所での保管を徹底し、漏洩、紛失、滅失等を未然に防止した。 目標を概ね達成することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故防止に努める。	ポスター掲示や職員啓発資料等を活用して、管理職から適宜交通法規順守の啓発活動を行った。また、交通法規の遵守を常に心がけ、時間と気持ちに余裕をもった安全運転に努めた。さらに、忘年会シーズン等、飲酒運転を根絶するために、注意喚起等で飲酒運転を許さない環境づくりに努めた。 目標を概ね達成することができた。
業務執行体制の確保	円滑な校務運営を実現するため、適切な業務執行体制を構築するとともに、全教職員間における協力体制を実現する。	学年及びグループ業務等について、円滑に業務が遂行できるよう、チームで取り組む意識を職員間で共有した。教材や業務などの資料をデータ化し、共有化・効率化を図った。また、全教職員での協力体制も実現され、適切な業務執行体制が構築された。 目標を概ね達成することができた。
財務事務等の適正執行	会計事務等を適正に執り行い、事故の発生を未然に防止する。	私費会計ハンドブックを配付し、すべての教職員に会計処理の基礎知識を周知し、さらに不祥事防止研修で、資料を用いて研修を行った。計画的な執行を促すとともに、定期的に適正執行を啓発することで、適正な会計事務の執行を実現した。執行については、複数の関係職員で確認をすることを徹底し、事故を未然に防いだ。 目標を概ね達成することができた。
校長による教職員への個別面談	各教職員に個別面談を実施する。	校長は各教職員に個別面談を実施したうえで、一人ひとりにおける事故・不祥事防止の取組状況を確認した。取り組みが不十分な状況が確認された場合は、必要な指導を行った。 目標を概ね達成することができた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

神奈川県職員行動指針を踏まえ、不祥事の発生をゼロにすることを目的として令和7年度不祥事ゼロプログラムを適切に実施した。実施結果からはゼロプログラム全体を概ね達成することができたと考えられる。しかし、校内においてヒヤリハット事案の報告も受けており、事故不祥事にもつながりかねないと考える。さらに、教員の盗撮やわいせつ事案が報道された際には、管理職による部室や準備室を含む全教室の点検や日常的に授業中の校内巡視を行うなど、迅速に取り組んだ。今後も職員への指導を徹底するとともに、職員の意識向上を図り、不祥事防止に努めたい。

次年度においては、今年度に引き続き神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針を踏まえ、法令順守の意識の向上を図り、不祥事の未然防止と職員の公務員としての自覚を促していきたい。また、教職員と生徒との適切な距離感を保ち、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止体罰、不適切な指導の防止に努める。さらに、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止に取り組み、生徒への不利益な事案が発生することがないように努め、信頼される学校作りを目指したい。